

令和4年度

入間市公開事業見直し

いるまドック

評価結果と

今後の対応



入間市マスコットキャラクター
「いるティー」

令和4年 12月

入間市企画部デジタル行政推進課

1. 評価結果のまとめ

【区分】

区分	内容
不要・凍結	● 事業そのものが必要ない(事業の廃止) ● ゼロベースで見直し(事業の一時凍結)
国・県・広域	● 事業は必要だと思うが、市がやるべきでない ● 国、県、広域で実施した方が効果的
入間市（要改善）	● 市が実施すべきだが、改善が必要である
入間市（現行通り・拡充）	● 引き続き市が実施すべき ● もっと重点的に取り組む必要がある

【結果】

4テーマを評価。評価結果は、市民判定人による評価の多数決で決めます。

「不要・凍結」 **0** テーマ 「国・県・広域」 **0** テーマ
「入間市(要改善)」 **3** テーマ 「入間市(現行通り・拡充)」 **1** テーマ

○7月30日（土）市民判定人12人、評価者3人

		不要・凍結	国・県・広域	入間市 (要改善)	入間市 (現行通り・拡充)	評価結果
スポーツ・レクリエーション推進	市民判定人	○	○	11	1	入間市 (要改善)
	(評価者)	○	○	(3)	○	—
市民生活向上への効果	大きな効果がある	1	ある程度ある	9	あまりない	2

		不要・凍結	国・県・広域	入間市 (要改善)	入間市 (現行通り・拡充)	評価結果
防災・災害対応	市民判定人	○	○	11	1	入間市 (要改善)
	(評価者)	○	○	(2)	(1)	—
市民生活向上への効果	大きな効果がある	2	ある程度ある	8	あまりない	2

○7月31日（日）市民判定人11人、評価者3人

		不要・凍結	国・県・広域	入間市 (要改善)	入間市 (現行通り・拡充)	評価結果
放課後子ども対策	市民判定人	○	○	11	○	入間市 (要改善)
	(評価者)	○	○	(2)	(1)	—
市民生活向上への効果	大きな効果がある	1	ある程度ある	9	あまりない	1

		不要・凍結	国・県・広域	入間市 (要改善)	入間市 (現行通り・拡充)	評価結果
図書館	市民判定人	○	○	4	7	入間市 (現行通り・拡充)
	(評価者)	○	○	(1)	(2)	—
市民生活向上への効果	大きな効果がある	8	ある程度ある	3	あまりない	○

2. 評価結果を受けた今後の対応

入間市公開事業見直し「いるまドック」は、少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響など、社会情勢の変化に伴って複雑化、多様化する行政課題に対応するため、「価値を生み出す行政改革」としてDXの視点からも事務事業の見直しを進め、事業の最適化を図ることで質の高いサービスを提供し、市民一人ひとりの生活の質を向上させることを目的として実施しました。

一般に公開事業見直しとは、市が実施している事業について、その必要性や手法等に関して、公開の場において外部の視点を交えて議論・評価等を行い、事業本来の目的や課題等を明確化することで市民の皆さんとの共通理解を深め、行政サービスの再構築を図るものです。

今年度は、市の考えをより正確に理解していただいた上で、市民判定人からさらに多くの意見や提案をいただけるよう実施方法を見直し、施策に近い形で大きいくくりで事業を捉え、1日2テーマ（全4テーマ）として多くの議論ができるような内容にしました。

なお、当日の評価結果につきましては、議論された視点等を含めて、個々の事業を最適化するための貴重な意見として、事業の見直しにおいて活用を図るものであり、評価結果をもって、そのまま市の最終判断とするものではありません。

今回、評価を受けた各対象テーマの今後の対応については、次ページ以降の「3.テーマ別詳細」のとおりまとめました。すぐに内容の見直しを図ることができるものにつきましては、本年度から取り掛かることとし、様々な調整の必要が見込まれるものについては、令和5年度以降の可能な限り早い段階で反映できるよう対応してまいります。

3. テーマ別詳細

○1日目 7月30日(土)

テーマ番号 テーマ名	① スポーツ・レクリエーション推進				スポーツ推進課
評価区分	不要・凍結	国・県・広域	入間市 (要改善)	入間市 (現行通り・拡充)	評価結果
市民判定人	0	0	1 1	1	入間市 (要改善)
(評価者)	0	0	(3)	0	—
このテーマは、市民生活の向上にどの程度効果があると思うか（市民判定人のみ）					
大きな効果がある	1	ある程度効果がある	9	あまり効果がない	2
当日の主な 論点・課題	・「週1回スポーツする市民を50%にする」ための方策について ・市内にあるスポーツ施設や関係事業・イベントの市民認知について ・健康増進のためのスポーツについて				
市民判定人の 主な意見	・既存事業への市民の認知度が低いのではないかな。 ・固定の人が参加しているという印象があり、それでは不足感がある。 ・スポーツ教室などは、参加するには敷居が高いと感じる。 ・近くの老人会がなくなり、参加できるスポーツやレクが減った。 ・やりたいスポーツがあっても近くでやっているところがないということがあった。 ・「スポーツ振興まちづくり条例」制定に期待している。				
市民判定人の 主な提案	・まずは市の情報を目にする人の数から増やしていくと良い。 ・新しく運動をしたいという人を取り込める事業をもっと増やしてはどうか。 ・運動習慣のない人へのアプローチを拡充する必要性は高い。 ・「子どもが自由に遊べる」「親が子どもと遊べる」「大人や高齢者が体を動かせる」、スポーツに限定しない環境づくりも重要である。 ・民間施設の利用への補助をすれば、スポーツの習慣化につながるのではないかな。 ・市民へのPR方法を検討するなど、「漠然と好き」から参加へとつなげる、底辺を広げる取組を検討すべきである。				
◎ 評価結果を受けた今後の方針：【要改善】					
・（仮称）スポーツ振興まちづくり条例の制定を機に、これまで以上にすそ野を広げるための、きっかけづくりとなる事業の展開を進める。 ・充実した市内スポーツ施設を最大限利用していただくため、地区体育館の開放や各地区スポーツ協会等と連携し、施設を活用した事業を拡充する。 ・市主催の大会、イベント等のみならず、各種団体主催のイベントや各地区スポーツ協会の情報等についてもSNS等により発信し、市内スポーツ全体の取組について知っていただく機会とする。 ・「市民の健康増進」を共通の目的とし、他部署・民間事業者等との垣根のない連携による事業設計を行う。					

テーマ番号 テーマ名	② 防災・災害対応				危機管理課
評価区分	不要・凍結	国・県・広域	入間市 (要改善)	入間市 (現行通り・拡充)	評価結果
市民判定人	0	0	1 1	1	入間市 (要改善)
(評価者)	0	0	(2)	(1)	—
このテーマは、市民生活の向上にどの程度効果があると思うか（市民判定人のみ）					
大きな効果がある	2	ある程度効果がある	8	あまり効果がない	2
当日の主な 論点・課題	・自助・共助・公助の在り方と防災行政情報の伝達、防災知識の普及啓発について ・平時及び災害発生時の、災害等に関する情報の市民への伝達方法について ・自治会・自主防災会未加入者への対応について				
市民判定人の 主な意見	・市民の生命に関わる重要なテーマである。 ・市は様々な方法で情報発信をしているが、なかなか市民に届いていないことがあるように感じた。 ・仕組みづくりと周知のバランスが重要である。 ・共助においては、近所の方々の連携が大切である。 ・防災ガイドブックを持っていたても、見ないままの人も多いのではないかな。 ・公助については、少ない人数で良くやってくれていると感じている。市民として協力していきたい。 ・地域や個人でできることを、小さいことから取り組んでいきたい。 ・自治会に入っていない人はどうすればいいのかな。				
市民判定人の 主な提案	・災害時は必ず避難所に避難するものと思い込んでいる市民もいる。在宅避難の周知もしながらの呼びかけも必要ではないかな。 ・高齢者や障害者、外国籍の方など、それぞれの市民の状況に合った、情報を受け取れる方法の検討をお願いしたい。 ・自助・共助については、それを促すような対策を考えてほしい。 ・訓練をしっかりとって、市民の意識を高めることが重要である。 ・1つの手法だけで全ての市民に情報を届けることは困難であることを前提として、誰一人残すことない対策をお願いしたい。 ・災害時に向けて中学生に役割を持ってもらうという事例は、子どもの頃から意識を高められ、良いと思う。				
◎ 評価結果を受けた今後の方針：【要改善】					
・市が取り組んでいる災害への対応策や防災ガイドブックによる自助・共助による備えについて、全市民との情報共有を進めるとともに、地域の防災士を中心とした普及啓発などにより、災害に強い地域づくりに努める。 ・防災に関する新たな枠組みの構築の検討や、中学生への防災教育の充実により、災害に的確に対応できる人材の育成を進める。 ・全庁を挙げて情報発信スキルの向上と情報発信方法の見直しを行うとともに、迅速に情報を届ける仕組みを強化する。					

〇2日目 7月31日(日)

テーマ番号 テーマ名	③ 放課後子ども対策				青少年課					
評価区分	不要・凍結	国・県・広域	入間市 (要改善)	入間市 (現行通り・拡充)	評価結果					
市民判定人	0	0	11	0	入間市 (要改善)					
(評価者)	0	0	(2)	(1)	—					
このテーマは、市民生活の向上にどの程度効果があると思うか(市民判定人のみ)										
大きな効果がある	1	ある程度効果がある	9	あまり効果がない	1					
当日の主な 論点・課題	・学童保育室の運営について ・放課後子ども教室事業の在り方 ・子どもの放課後の過ごし方について									
市民判定人の 主な意見	・学童保育室については大きな効果があると感じる。 ・現在の学童保育室は、自分が子育てしていた時代では考えられないほど充実している。 ・学童保育料について、税金の使い方と受益者負担の在り方が難しい。 ・全ての子どもが来てくれる場所づくりが重要である。 ・放課後子ども教室の必要性は感じられない。 ・放課後子ども教室がもっと広まることを期待している。 ・子どもの居場所づくりに関しては、子どものニーズ、親のニーズ、子のいない世代のニーズも汲んでほしい。									
市民判定人の 主な提案	・学童保育室の民営も含めた運営方法の検討も行う必要がある。 ・GIGA スクール構想により配布されているタブレットを活用して、ニーズ調査を実施することはできないか。 ・放課後子ども教室の内容について、令和以降の世情を見据えたものに進化させてほしい。 ・放課後子ども教室を自由参加の事業にできないか。 ・放課後子ども教室の回数・内容を現在より充実させられるのではないか。									
◎ 評価結果を受けた今後の方針：【要改善】										
・小学生の放課後の過ごし方の実態を捉える調査を実施し、放課後の子ども支援の在り方について、コミュニティ・スクールと歩調を合わせて整理する。 ・放課後子ども教室は現在の方法を維持するとともに、さらに多くの子どもが自由に参加できる、居場所の拡大のための事業設計を行う。 ・学童保育室の運営主体の在り方について、令和5年度に実施する公設民営施設3カ所の第三者評価結果をもとに、コスト比較、職員の配置状況を踏まえ、同年度中に今後の方向性を決定する。 ・学童保育料については令和3年度に一部改正を行ったが、検証をさらに進め、サービス水準や受益者負担について令和5年度中に方向性を決定する。										

テーマ番号 テーマ名	④ 図書館				図書館
評価区分	不要・凍結	国・県・広域	入間市 (要改善)	入間市 (現行通り・拡充)	評価結果
市民判定人	0	0	4	7	入間市 (現行通り・拡充)
(評価者)	0	0	(1)	(2)	—
このテーマは、市民生活の向上にどの程度効果があると思うか（市民判定人のみ）					
大きな効果がある	8	ある程度効果がある	3	あまり効果がない	0
当日の主な 論点・課題	・「暮らしに役立ち学びを支える身近な図書館」であるために、多様化するニーズに対応する各図書館事業について ・DXが進む中での、電子図書館等の活用について				
市民判定人の 主な意見	・縦割りではなく、全住民に対してきめ細かな事業を実施している。 ・図書館へなかなか行けない高校生やICTへの対応が難しい高齢者等を取りこぼさないでほしい。 ・本の貸し出しに止まらず、読み聞かせや市民のための調達など多岐にわたっていると感じた。以前、調べもので助けられたことがある。 ・図書館は、今回テーマとなったどの事業よりもDX発展の必要性が目の前まで迫っている。				
市民判定人の 主な提案	・GIGA スクール構想により配布されているタブレットを活用して、ニーズ調査を実施してはどうか。 ・夜間の開館時間については知らなかった。広くアピールして利用者数向上につなげてほしい。 ・図書館の利用カードをマイナンバーカードと関連付けることはできないか。 ・高齢者への読み聞かせをするグループも支援してほしい。認知症の療法の一つである回想法にも活用できるかもしれない。 ・事例に挙げた思い出を未来に残すプロジェクトのデジタル化は、子どもから高齢者まで分かち合えるものであり、入間市でも取り上げてはどうか。 ・デジタル化に軸足を置きながらも、対面での読み聞かせは乳幼児時代から本に触れあう機会であり、力を入れるべきである。 ・電子図書の推進も含めて現行方針を続けて良いと思う。				
◎ 評価結果を受けた今後の方針：【現行通り・拡充】					
・電子図書の拡充、デジタルアーカイブの環境整備及びレファレンスのオンライン化などによりDXを進める。 ・読み聞かせや手作り感も大切にしながら、子どもの読書活動支援を推進する。 ・開館時間等について積極的にPRするとともに、市民のくらしや学習に役立つ資料を提供するため、図書館資料の充実を図る。 ・図書館本館の運営形態について、財政面からの検討も併せて、今後の在り方の検討を進める。					